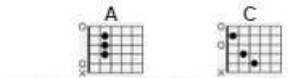
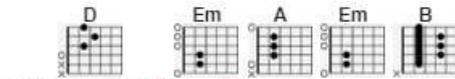


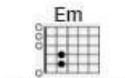
真赤 な薔薇は あいつの唇



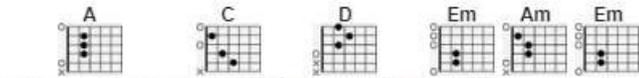
やさし く抱かし めて



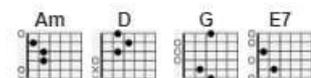
くれ とねだ る



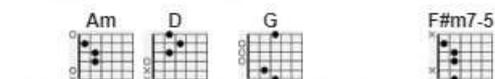
瞳 の奥に 猿物を映して



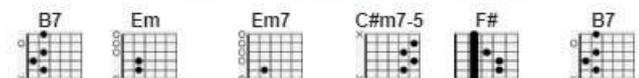
淋し く問いか ける愛 の在り か



男 に は



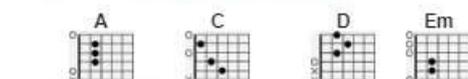
自分 の 世界 がある たとえ るなら



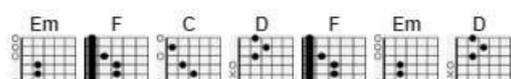
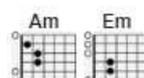
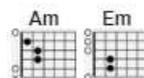
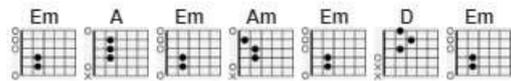
空を かける ひとす じの 流れ星



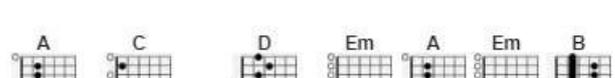
孤独 な笑みを 夕陽にさらして



背中 で泣い てる 男 の美 学



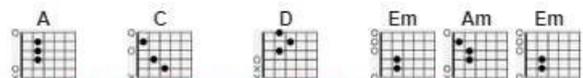
真珠 の色は あいつのまなざし



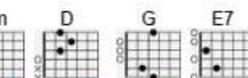
遙か な幸 せを 夢 に描 く



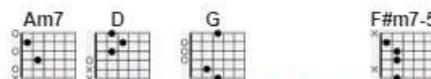
いため ることを 恐れるあまりに



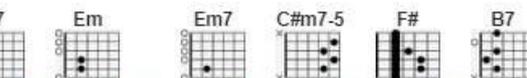
冷た く突き 放す 愛 もある さ



男 に は



自分 の 世界 がある たとえ るなら



風を はらい 荒く るう 稲光



都会 の間に 体を溶かして



口 笛吹い てる 男 の美 学





